

お西さん

第133号
平成6年1月11日号

発行責任者
佐々木俊朗

お知らせ

三講合同新年会

■日時 1月26日(木)
14:00~
■場所 花びしホテル
■会費 5,000円
お申し込みは寺務所まで

十六日会新年会

■日時 1月16日(日)
12:30~
■場所 西別院文化会館
■会費 1,000円
会費は、当日いただきます



南無阿弥陀仏

謹賀新年

明けまして おめでとうございます。
「正月や」「しようがつや」「シヨウウガツや」人それぞれに、いろんな感慨が湧きます。

今年により、状況により、その気持ちにより……。しかし、時は誰彼に容赦なく無情にも過ぎてゆきます。

アナタには、どんな年が訪れたのでしょうか。

めでたい(芽出たい)とは、新しいのちの始まりであります。

まっさらな新春の朝、二度とやって来ないいまをせい一ばい生きる。それはいのちの讃歌を奏でることであり、

新しい門出でもあります。このすがすがしい気持ちを大切にしたいと思えます。

「仏法には明日ということはあるまじきよしの仰せに候」

たったいま、この場が、み教えに目覚める機縁となれば幸いです。

「一つのことを、いくたび聴聞申すとも、めずらしくはじめたるやうにあるべきなり」(蓮如上人)

平成六年一月

函館別院 輪番

佐々木 俊朗



西本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647



お西さんしあわせ電話
ちよっと耳をかたむけてみませんか

0138 27局 2424番

聞こう//学ぼう//味わおう//24時間いつでもどうぞ。

- 1月8日(出)~14日(陰)…石丸 承仕
- 1月15日(出)~21日(陰)…黒田 承仕
- 1月29日(出)~2月4日(陰)利国 参勤
- 1月22日(出)~28日(陰)…神田 承仕
- 2月5日(出)~11日(陰)…小笠原承仕
- 2月12日(出)~18日(陰)…宋澤剛輪番
- 2月19日(出)~25日(陰)…芝田 承仕
- 2月26日(出)~3月4日(陰)黒田 参勤

職員出身地マップ

「お寺さんどこから来たの？」門徒さんとお話しの中で、よく聞かれる言葉です。今回全職員の取れ所を記してみました。こうして見ると、日本全国アチコチから来函しています。普段の会話の中での言葉の違い(方言)お気付きでしたか？



今年もよろしくお願いいたします。

本願寺函館別院職員一同
本願寺函館別院役員一同
本願寺函館別院各教化団体
役員一同

函館組 仏教婦人会連盟創立10周年記念大会に参加して

十一月二十日三百名余りの出席のもと、市民会館大ホールの舞台上は、小さな灯火が揺れ、二本尊に献灯、「一つひとつの灯が少しづつ大きくなり、生きとし生けるものの命の灯火となる。聖人が求め続けた真実の道、それはたゆむことなく響きあう真の道、なんと響きよいナレーション、演出のすばらしさに感激// 民族伝統のお酒を飲み、伝統の料理を食べ日本国中と言わず世界各国を歩いていると話される佐々木久子さんの講演は、広島原爆の体験をはじめ、多岐にわたるものでした。特にさけて通れない老いについて、八十四才で選挙なされたお母様のお世話のなかに、どうにもならず段意の湧く事もあったそうです。「ボケ状態でも段意が伝わるのですね。」そのような中で「久子ごめんね」そして両手を合わせ「ナンマンダブ、ナンマンダブ、ごん山様」とおっしゃったそうです。日頃の念仏があったればこそ、お念仏さまが生きて出て下さるのですね。

三十三年間嫁を演じ、今は世間で言う高齢者世帯の私には、深く考えさせられました。画家の目から見ると富士山は「心」の字になるそうです。私達無形の財産を載せていながら、忘れかけている事の多さを気付かせて下さいました。

表情豊かに体全体で話される一つ一つに味わい深いものばかり。ただただ、よかったと感動するばかりでした。

今回のご縁を大切に、より一層聴聞させていただきます。来る平成七年函館別院仏婦会創立九十周年の時には、「私、キラリしてま〜す」と、大きな声で叫べるお互いでありたいと思います。



仏教婦人会会員
今村 貴美子

(テーマ)輝—あなた
キラリしてますか



※初参式の申し込みを
お待ちしております。(係)

ようこそ函館別院へ。
「なんまんたぶ」の仏さまは、いつも学んくと一緒にです。
いつまでも元気ですね。

おめでとう
初参式



ようこそ
学ばせくん
よかつたね!

札幌市南区澄川
佐々木 彦 貴子さん
ご二男 学くん



函館別院

今昔物語

深き縁(いにしえ)



エーこれが昔の別院!?と思われるでしょう。安政二年(1855年)願乗寺と呼ばれた頃から、現在に至るまでの139年間の移り変わりで。大火等さまざまな苦難を乗り越える中、外見は変化して来ましたが、仏法を喜ぶ場としては、何も変わっていません。きつと皆さんの先代の方々も沢山お参りされたことでしょうか。古い写真をみつめ、深き縁を感じてみられたいかがですか?

〔明治初期〕

願乗寺川又は、堀川とも呼ばれていた(現在の別院前高砂通り辺り)

〔願乗寺〕

此岸から彼岸へ、この橋を渡り、想いをこぼされたのでしょうか。

〔明治後期〕

残つていれば観光の名所(テートスポット)になつていたかも

〔現在に至る〕

新しい時代の幕明け。自称、美男美女の職員が勢ぞろい。

「今(いま)の人は古(いにしえ)をたづぬべし。また古(いにしえ)き人は古(いにしえ)をよくつたふべし。物語は失(うしな)するものなり。書(か)したるものは失(うしな)せず候(まを)ふ。」

「蓮如上人御一代記聞書」より

御正忌法要勤修

函館別院では報恩講を十月に勤めています。御本山では毎年一月九日より十六日まで「御正忌報恩講」が勤修されています。

当別院にても、この御正忌のお勤めを致しますのでどうぞ御参拝下さいますよう御案内致します。



●平成六年

一月十四日 午後一時半より
十五日 午後一時半より
十六日 午後一時より

●講師 本願寺布教使
藤森 晃道 師

平成六年度年回表

一周忌	平成五年
三回忌	平成四年
七回忌	昭和六十三年
十三回忌	昭和五十七年
十七回忌	昭和五十三年
二十三回忌	昭和四十七年
二十五回忌	昭和四十五年
二十七回忌	昭和四十三年
三十三回忌	昭和三十七年
三十七回忌	昭和三十三年
四十三回忌	昭和二十七年
四十七回忌	昭和二十三年
五十回忌	昭和二十年

●過去帳を拝見なさる際は、法要は早い内におきに二回ほど下さい。

幼稚園・だより



おもちつき

十二月五日、子供達が楽しみにしていたおもちつきと誕生会が行なわれました。十一月生まれの子供達をお祝いした後、おもちつきのうたを元気よくうたい、さあいよいよおもちつきです。

年長組は慣れた手つきで重い杵を持ち、こつたん、こつたん、と、力強くついでました。

年少・年中組は初めておもちをつく子供がほとんどで「先生、おもちつきって難しいね」と、おもちつきの感想をはなしていました。

おもちつきが終わり、お母さん方の作ってくれたおそうにを目の前に子供達は、「僕のついたおもちだー」と大喜び。子供達は自分達でついたおもちを十分に味わって食べていました。

（楽しく、やさしく、安全に、
経験豊かな指導者が
見守っています。）



ビーバー・カブスカウト活動は、一人ひとりの子供たちが、楽しく、安全に活動できることを第一に考えています。そのために、活動のプログラムは、長年の豊富な経験に基づいた適切な教育方針のもとで綿密に研究され、練りこまれてつくられています。しかも毎年のリーダーたちは、指導者としての専門課程を受けた経験豊富な人たちです。ビーバー・カブたちは、こうした人々にやさしく見守られながら、思う存分エネルギーを発散しているのです。



**ボーイスカウト
団員募集中**
お申し込みは
西別院まで

●**ビーバースカウト**
〈小学1年生～2年生〉
小学校就学前の1～3ヶ月
前から参加できます。

●**カブスカウト**
〈小学3年生～5年生〉

●**ボーイスカウト**
〈小学6年生以上〉

BOY SCOUTS



がんばること、なかよくすること、
やさしくすること
子供は、大人になるための、
いろいろなことを、遊びの中から学びます。
ビーバースカウト、カブスカウトは、
同じくがんばるはくさかりの子供たちの集まりです。
仲間たちとのびのび遊び、生き生きと学ぶ。
がんばらしい体験を通して、
いま一番大切なものをしっかり育んでいます。

中央仏教学院 特別講演会の ご案内

日時
場所
講師

平成6年2月27日(日)
午後1時30分より

西別院文化会館

中央仏教学院講師

守 快信氏

※会費は無料です。
皆さんお誘い合わせの上、お越し下さい。

常例布教

【二月・二月】

- 十一日 午後一時半(あそか念)
 - 十二日 " (法友念)
 - 十三日 " (先真講)
 - 十四日、十六日 午後二時半
 - 十六日会 午後十二時半
- 布教使
- 室蘭市常盤町 本教寺 藤森 晃道師
上磯郡上磯町七重浜 宣法寺 渡辺 脊龍師
- ※なお、毎月十六日は輪番の法話です。

教化サークル



【二月・二月】
婦人会 担当 末澤 神田

●二月二十三日 新年会

●二月二十三日 例会

●二月 新年会
●二月 研修会・組連盟大会研修会

●二月十八日 新年会

●二月十八日 例会

●二月 新年会

●二月 新年会

●二月 新年会

●二月 新年会

●二月 新年会

●二月 新年会

●二月 新年会

●二月 新年会

●二月 新年会

●二月 新年会

●二月二十三日 日吉丁目熊谷宅にて

お便り
大募集

仏教に関する質問等、どんなことでも結構です。「お西さん」にてお答えします。ので、編集部長の手紙でお寄せ下さい。又、詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。
どうぞ、お気軽にお便り下さい。

制作/悟龍画工舎 ☎(0138)512700

永代経想志上納者

哀悼録

平成五年十月1日平成五年十二月の間に亡くなられた方々、生前のご苦労お取持ちを、心より哀悼の意を表します。

- 北海道南西沖地震・義援金を
いただいた方々のお名前
- 森 広トシエ様 淡 みどり様
 - 岩崎 秀子様 森 静 枝様
 - 真田 やゑ様 川上 イミ子様
 - 荒木 ミツエ様 辻元松男・幸子様
- ご協力ありがとうございました。